

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#5



今年の縮刈りの時の
スナップ写真。

いだてん金栗四三もいるよ



よしこちゃん
(美容師さんのハット
練習人形から転職)

會田 ツタ枝 さん

伊丹沢

再現度がすごい!

青空に映えるユニークなカカシ達！思わず車を停めて眺めてしまった人もいたのでは？現場は伊丹沢、會田征男さんの水田です。征男さんの妻・ツタ枝さんに、そのワケを聞くと…。「ボランティアに来てくれるのよ。道具は持参、シ班々がつくるのよ。道具は持参、家の周りにある物も材料にして」と教えてくれました。ボランティアの皆さんは、関東地方の方が中心で、居住地も職業も年齢もさまざま。會田さん夫婦が力を注ぐ「飯館復興の桜」の並木の手入れや、米作りの手伝いに、たびたび會田家を訪れています。

「お母さんって呼んでくれるの」とツタ枝さん。「行ってもいい？お前は持つて行くからご飯炊いていてくれる？」と連絡が来ることもあるとか（本当に実家みたいですね）。メンバーは離れに泊まり、飯館ライフを満喫しながら、ボランティア活動を行います。「ここが大好きって言うてくれて、私達は言葉では言い表せないくらい、元氣をもらっているの」。間もなく稲刈りです。カカシ達も皆さんの笑顔を心待ちにしています。

話題の パレット

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613



爽快に晴れ渡った青空の下、「いいたて球場」に球音が響きました。

8月25日、「いいたて球場」で開催された毎夏恒例の野球大会「飯館村野球連盟理事長杯」。村内の企業や行政区がつくる7チームが、和気あいあいとした雰囲気、かつ熱いゲームを展開しました。



昨年に続いて「ファイターズ」が優勝しました！



9月14日、「刃物の館やすらぎ工房」飯館工場火入れ式が行われました。村への新規の企業進出は、震災後初めて。続いて行われた開所式では、関係者が今後への期待を語り合いました。

工場では神事を行い、炉に火を入れました。火入れ式では、工場の4代目鍛冶職人の貴大さんが鋼（はがね）を強く打ち熱させて火を起し、その火を炉に入れました。

工房主催の開所式は、交流センター「ふれ愛館」で行われました。あいさつで感謝と抱負を語る工場の二瓶信男代表。あたたかなお人柄と職人としての誇りが伝わりました。



いただいた仕事を一つひとつついでいかに、まていにやっていく。お客様に喜んでいただけるよう熱意をもってやっていきたい。

教えてください おすすめの本

募集期間 10月15日(火)から11月8日(金)

読書メッセージコンテスト

自分が読んだ中からおすすめの本を
みんなに伝えるメッセージ。
100字程度で募集します。

最優秀賞 1人(5,000円分図書カード)
優秀賞 6人(3,000円分図書カード)
JPIC賞 7人(3,000円分図書カード)

応募用紙は9月に全戸配付しております。また、HPからも取得できます。応募ポストは、役場窓口と交流センターに設置します。郵送やメールでも応募できます。

交流センター「ふれ愛館」(飯館村 生涯学習課)
〒960-1801 飯館村草野字大師堂17
☎ 0244-42-0072
✉ kouminkan@vill.iitate.fukushima.jp

大変でもやってみれば面白いだよ。十分に検査を受けて出荷を目指します。



畑がやわらかな緑に染まっていました。目黒正光さん(伊丹沢)が、地域の人から借りた農地につくりあげた畑です。農業用機械も借りながらの新たな挑戦でしたが、見事な白菜が一面に並びました。